

2024年8月1日

第2期決算公告

東京都渋谷区渋谷一丁目17番8号
株式会社アップデートサポート
代表取締役 藤田 直行

貸借対照表

(2024年5月31日現在)

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流 動 資 産	47,042	流 動 負 債	15,305
現金及び預金	34,477	買掛金	4,128
売掛金及び契約資産	12,393	未払金	2,686
貯蔵品	9	未払費用	4,018
前払費用	143	未払法人税等	290
立替金	18	未払消費税等	3,648
		預り金	534
繰 延 資 産	701	固 定 負 債	5,024
創立費	701	退職給付引当金	5,024
		負債合計	20,329
		(純 資 産 の 部)	
		株 主 資 本	27,415
		資本金	15,000
		資本剰余金	15,000
		資本準備金	15,000
		利益剰余金	△2,584
		その他利益剰余金	△2,584
		(うち当期純損失)	(△3,103)
		純資産合計	27,415
資産合計	47,744	負債・純資産合計	47,744

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

I 重要な会計方針に係る事項

1. 資産の評価基準及び評価方法

- ・ 棚卸資産
貯蔵品

最終仕入原価法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）を採用しております。

2. 繰延資産の処理方法

- ・ 創立費

5年で定額法により償却しております。

3. 退職給付に係る会計処理の方法

当社は、退職給付引当金及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。

4. 収益及び費用の計上基準

当社は、以下の5ステップアプローチに基づき、収益を認識しております。

- ステップ1：顧客との契約を識別する
- ステップ2：契約における履行義務を識別する
- ステップ3：取引価格を算定する
- ステップ4：取引価格を契約における履行義務に配分する
- ステップ5：企業が履行義務の充足時に収益を認識する

5. その他計算書作成のための基本となる事項

- ・ 消費税等の会計処理の方法

消費税及び地方消費税の処理方法は、税抜方式によっております。

II 貸借対照表に関する注記

親会社に対する金銭債権及び、金銭債務は次のとおりであります。

短期金銭債権	1,102 千円
短期金銭債務	415 千円

III 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。

以 上